

## 第8回総務文教常任委員会会議録

- 1 開会日時 令和元年7月17日(水)午前10時0分
- 2 閉会日時 令和元年7月17日(水)午後0時5分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員  
1 番 永徳 省二君                      3 番 佐藤 武君                      7 番 大口 浩志君  
1 2 番 北川 勝義君                      1 6 番 下山 哲司君                      1 7 番 実盛 祥五君
- 5 欠席委員  
な し
- 6 説明のために出席した者  
市 長 友實 武則君                      副 市 長 前田 正之君  
副 市 長 川島 明昌君                      教 育 長 内田 恵子君  
総合政策部長 安田 良一君                      総 務 部 長 塩見 誠君  
財 務 部 長 藤原 義昭君                      教 育 次 長 藤井 和彦君  
赤坂支所長兼  
市民生活課長 土井 常男君                      熊山支所長兼  
市民生活課長 矢部 恭英君  
吉井支所長兼  
市民生活課長 是松 誠君                      消防本部消防長 井元 官史君  
秘書広報課長 小引 千賀君                      政策推進課長 花谷 晋一君  
総 務 課 長 小坂 憲広君                      くらし安全課長 岡本 和典君  
財 政 課 長 和田美紀子君                      管 財 課 長 戸川 邦彦君  
税 務 課 長 遠藤 健一君                      教育総務課長 安本 典生君  
学校教育課長 家森 康彰君                      社会教育課長兼  
スポーツ振興課長 土井 道夫君  
消 防 本 部  
消防総務課長 檜原 秀幸君
- 7 事務局職員出席者  
議会事務局長 元宗 昭二君                      主 幹 黒田 未来君
- 8 協議事項 1) 事業の進捗状況について  
2) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（北川勝義君） 皆さんおはようございます。

ただいまから第8回の総務文教常任委員会を開会いたします。

それでは、市長のほうから御挨拶いただきたいと思ひます。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 皆さんおはようございます。

本日は、7月の総務文教常任委員会でございます。開会、お忙しい中ありがとうございます。暑くなっております。皆様方も健康管理に注意していただきたいと思っております。

そういう中で、本日の御協議をいただく案件でございますけれども、今年度の事業の進捗状況をお伝えし、御協議をいただきたいと思ひます。それから、その他の案件として数件の案件を協議させていただきます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

以上です。

○委員長（北川勝義君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入りたいと思ひます。

協議事項の1の事業の進捗状況ということで、各部ごとに説明願ひたいと思ひます。よろしくお願ひします。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） それでは、総合政策部資料を御準備ください。

政策推進課より(1)平成30年度市民バス等運行実績について御報告します。

資料は、1ページをごらんください。

運行路線ごとの利用者数の推移について、グラフを記載させていただいております。

左上の(1)赤磐・美作線、赤磐・和気線の利用者数の推移をごらんください。

赤磐・美作線は、平成29年度と比較しまして1,557人、約7%減少しております。赤磐・和気線は、ほぼ横ばいとなっております。

続きまして、右上の(2)赤磐市民バス利用者数推移のグラフをごらんください。

広域路線バスを除く市民バスの利用者数は、平成27年度をピークにここ数年は減少傾向でありまして、平成30年度実績は前年度と比較して682人、約4.4%減少しております。上から2段目以降のグラフにつきましては、各路線の利用者数となっております。

運行利用実績の報告は以上とさせていただきます。

裏面の2ページをごらんください。

各路線の市民バスの運行実績に基づきました市民バスの運行拡大、縮小等の検討路線について御報告します。

この拡大、縮小の検討基準につきましては、昨年度策定いたしました赤磐市地域公共交通網形成計画に基づくものでございまして、2ページの一番上の表には拡大、縮小の検討基準を抜粋して載せております。この検討基準は、基準に合致したからすぐに路線の拡大や縮小をするというのではなく、客観的に判断する基準として設定してございまして、検討のテーブルに上げる基準でございまして、したがって、特に縮小の基準に合致した路線につきましては、今後は地域の方、利用者また運行事業者の意見を聞いたりバスの利用促進などを行ったりと、さまざまな対応が地域公共交通会議において協議されます。利用者がいないから必要のない路線ということではなく、公共交通網形成計画では週2日は公共交通を利用して生活に必要な買い物及び地域の医療機関へ通院できることが行政としての維持するサービス水準と定めておりますので、その基準を照らし合わせまして慎重に協議してまいりたいと思います。

なお、広域路線バスにつきましては、本市単独の運営ではないため、構成する他市町に検討課題として提案するかどうかの基準とお考えください。

さて、先ほどの運行実績をこの基準に照らし合わせますと、拡大検討路線は路線名に青い丸のついております熊山地域の石蓮寺線の1路線になります。続きまして縮小の検討路線は、定時路線型市民バス、高陽北西・高月線、笹岡線、小野田線、豊田・熊山線、松木・下市線になります。デマンド型市民バスでは西勢実線、また広域路線バスでは赤磐・和気線の合計7路線が対象となります。繰り返しになりますが、これは検討を開始する基準でございまして、地域の皆様が安心して住み続けられる公共交通網の構築を目指してまいりたいと考えております。

ここで、公共交通に関しまして、宇野自動車株式会社が運行されていた赤磐循環バスについて現在の状況を御説明いたします。資料はございません。

現在、休止届の期間中であり、市としましては継続に向けて働きかけを行っていることには変わりはありませんが、民間バスの経営判断もございまして、明確な御報告ができる状態とはなっておりません。これとは別に、休止の影響を受けている地域の皆さんへの対応としまして、山陽団地内でお声かけをいたしましてバスの乗り方教室の開催を調整中です。これは、買い物や通院に不自由を感じられている皆さんに向け、休止前の赤磐循環バスとほぼ同じルートや近隣のルートを引き続き運行している民間バスの活用方法などをお示しし、少しでも手助けになればという取り組みでございまして。

続きまして、(2)第2次赤磐市総合計画後期基本計画の策定について御報告します。

資料は3ページをごらんください。

平成27年度に策定しました第2次赤磐市総合計画につきましては、計画の構成として10年間のまちづくりの方向性を示す普遍的な指針として基本構想を策定し、これを実現するため行政運営の方針を明確にするため基本計画を策定します。この基本計画は、社会経済環境の変化に対応した施策展開を可能にするため5年間の計画となっており、中間年である今年度に計画の見直しを行い、残り5年間の後期基本計画を策定することとなります。

資料4ページをごらんください。

今後のスケジュールの予定をお示ししております。現在、その後期基本計画の策定作業を行っておりまして、12月議会定例会への議案上程に向けて、今後有識者から成るまちづくり審議会での御審議や各常任委員会への御報告、パブリックコメントを実施させていただく予定です。また、9月開催の各常任委員会で見直し素案を報告させていただく予定としております。

なお、5ページには7月29日に開催いたしますまちづくり審議会において委嘱を予定しております赤磐市まちづくり審議会委員の予定者名簿を添付しております。参考にごらんください。

政策推進課からは以上です。

以上で総合政策部の説明を終わります。

○委員長（北川勝義君） 総務部。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 総務部の資料をごらんください。

その他としまして、AMD A災害医療機動チームについて……。

○委員長（北川勝義君） 総務部はええんじゃ、その他じゃな。

財務部。

○管財課長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○管財課長（戸川邦彦君） 財務部から管財課より子どもパスポート事業について御報告させていただきます。

財務部資料の1ページをごらんください。

岡山連携中枢都市圏事業として、子どもパスポート事業を実施いたします。

事業内容につきましては、その3にありますとおり、岡山連携中枢都市圏内の小学生を対象に、圏域内の公共施設に無料で入館できる子どもパスポートを配布し、子供たちに歴史や文化、自然に触れてもらい、郷土を愛する心を育むための環境づくりに資するものでございます。

実施につきましては、7月20日からとなります。

赤磐市内の小学校1年生から6年生までの児童数は、2,412人でございます。転入児を想定して、余分を含めて配布をさせていただいております。

赤磐市の対象施設としては4施設で、赤磐市山陽郷土資料館、赤磐市吉井郷土資料館、石蓮寺みんなの森、熊山英国庭園の4カ所となっております。

それぞれの施設にスタンプラリー用のスタンプを置いています。スタンプは、訪れた各市町で1個スタンプ帳に押すことができるようになっています。訪れた先でスタンプを押してもら

い、スタンプ3個以上集めることで商品の抽せんに応募してもらえるようになります。スタンプラリーの応募期限は、令和2年1月31日までです。

子どもパスポートの配布につきましては、各小学校へは配布済みでございます。7月19日までに児童への配布を現在お願いしているところです。

現在の小学校6年生の児童につきましては3月31日までの期限となりまして、今年度限りとなりますが、子どもパスポート事業については来年も継続していきたいと考えています。

スタンプラリーの企画につきましては、効果を見て来年度の実施については検討していきたいと思っております。

参考資料としまして、資料の2ページ、3ページに圏域内の対象施設一覧を添付しております。12市町と県立の施設合わせて65施設となっております。

それから、資料の4ページから7ページに子どもパスポートの見本を添付させていただいております。こちらのほうは、ポケットに入れやすいA6版で46ページの構成となっております。

それから、資料の8ページ、9ページにスタンプラリーの台紙の見本を添付させていただいております。

以上です。

○委員長（北川勝義君） 続いて。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） 教育委員会の資料をごらんください。

スポーツ振興課から2件報告させていただきます。

1件目につきましては、スポーツ施設（指定管理者報告）の平成30年度の運営状況についてでございます。

資料の1ページをごらんください。

昨年度と比較した利用状況の表を作成しております。

まず、赤磐ふれあい共同事業体が管理している山陽ふれあい公園等の施設利用についてでございます。体育館、プールはほぼ前年並みの利用でしたけれど、園内施設については10月のスポレクフェステ赤磐の台風による中止で大幅に減っております。

2ページの桜が丘運動公園野球場や運動場については、昨年度は夏の長雨や台風で県内被災地の施設が利用できなくなったことから、大きな大会等の開催により利用者が伸びております。西山グラウンドについては、近隣住宅とのトラブルなく利用ができております。

続きまして、資料3ページをお開きください。

吉井スポレククラブが管理している吉井B&G海洋センター等の施設利用についてです。

各施設を年間で見ますと、施設利用が前年度より利用者が増加した施設もあれば減少した施設もあり、まちまちでございます。総合的には利用者数が増加しております。これにつきまして

ては自主活動の催し物、各種運動教室、利用団体、また周辺市町の小中学校、湯郷旅館組合への呼びかけ等での利用者増となった施設がある一方、天候等の影響で利用者減になった施設もございます。

続いて、5ページをお開きください。

赤磐シルバー人材センターが管理しているグラウンド・ゴルフ場の利用についてでございます。

月別では、前年度と比較して天候等で多少の増減はあり、ゴルフ場の維持管理の徹底、月例大会の開催、利用団体及び観光会社への呼びかけ等の努力はしているものの、年間としては昨年よりやや減の3万4,996人の利用がございました。

資料6ページには、今年度の3施設の管理施設への主な自主活動の各種運動教室及び催し物を記述しております。山陽ふれあい公園では43の運動教室、グラウンド・ゴルフ場では年間会員の月例大会の開催、吉井B&G海洋センターでは10の運動教室を開催し、利用者増に取り組んでいるところでございます。

続いて、資料7ページをお開きください。

2点目の赤磐市東京2020ホッケー競技国内キャンプ誘致活動についてでございます。

赤磐市でのニュージーランドホッケー女子チームの事前キャンプの正式レターが6月21日に届きまして、現在そのおもてなしの準備をするため、応援サポーターとボランティアスタッフの募集を行っているところでございます。募集につきましては、新聞折り込み並びに区長、町内会長、あと市内小中学校、近隣の高校などをお願いをしているところでございます。キャンプ期間中には歓迎式、さくらジャパンとの練習試合、交流会などを予定しております。また、細かなスケジュールにつきましては現在ニュージーランドチームと調整中でありまして、決まり次第市民の方にホームページなどでお知らせすることとしております。議員の皆様におかれましても御協力方よろしくお願ひいたします。

また、運動公園の竣工式を8月5日月曜日午前9時40分から計画しております。議員の皆様には御案内を申し上げましたので、御出席方よろしくお願ひいたします。

以上、スポーツ振興課から説明させていただきました。

○学校教育課長（家森康彰君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○学校教育課長（家森康彰君） 教育委員会資料9ページをごらんください。

岡山県オリンピック・パラリンピック教育推進事業に係るオリンピック・パラリンピック教育推進校について説明をさせていただきます。

岡山県では、オリンピック・パラリンピックへの関心を高め、スポーツへの価値や効果の再認識を図るとともに規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解等を深めるために、県内12校を推進校として事業を進めます。赤磐市はオリンピックホストタウンであり、ニ

ニューージーランド女子ホッケーチームの事前キャンプが行われることから、磐梨中学校がオリンピック・パラリンピック教育推進校として選ばれました。県から委託金15万円で行う事業です。

8月にはホッケー女子ニューージーランド代表の歓迎会、さくらジャパンとの試合観戦、応援を行う予定です。12月にはオリンピック経験のあるホッケー選手による講話、またホッケー教室の開催を計画しています。2月にはワークショップに参加し、実践を発表します。9月の補正予算で歳入、歳出を上げさせていただきます。

学校教育課からは以上です。

○教育総務課長（安本典生君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○教育総務課長（安本典生君） 教育委員会の資料の中で案件としては上げておりませんが、済みません、追加で教育総務課のほうからスクールバスの事故発生について報告のほうをさせていただきます。

昨日、磐梨小学校スクールバスが、飛び石による窓ガラスの破損事故が発生をしております。昨日の夕方16時8分ごろでございます。磐梨小学校の下校用スクールバスが、熊山地域の粕尾周辺でシルバー人材センターが草刈り作業をしております、そのときの飛び石によりましてバス後方の窓ガラス1枚が割れて、乗っていた児童1名がけがをしております。けがをしました児童につきましては、2年生の女児児童でございまして、けがのほうは確認を行いましたところ、肘のところに少しすり傷がある程度ということで、保護者の方にも御確認をいただいております。

バスの運行につきましては、代替バスを準備するなどして40分程度のおくれが出ているところでございました。

続きまして、そのバスの修理が発生しましたので、バスにつきましては本日から代替バスのほうを準備して、直るまで代替バスによる運行とさせていただきます。また、バスの修理費用などにつきましては、シルバー人材センターのほうが負担していただく形になります。また、シルバー人材センターに対しましては、事故の発生につきまして、きのうの時点では担当の方が来られましたので、その場では厳重注意を行っております。また、学校を通じて保護者の方につきましても遅延とこの状況について報告のほうをさせていただき予定でございます。

以上でございます。

○委員長（北川勝義君） 執行部のほうから説明が終わりました。

何か委員の皆さん、質問がありましたらお願いしたいと思います。順不同で結構ですから、お願いします。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 先ほど宇野バスの説明があったんじゃないけど、ちょっと全体的に一生懸命聞きようつもりじゃけど理解ができなんだ。もう一遍お願いできますか。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） 先ほどの説明を繰り返させていただいてもよろしいですか。

○委員（下山哲司君） ええですよ。

○政策推進課長（花谷晋一君） そうしましたら、宇野自動車株式会社が運行されていた赤磐循環バスについて、現在の状況を再度御説明させていただきます。

資料はございません。

現在、休止届の期間中でありまして、市としましては継続に向けて働きかけを行っていることにはかわりはありませんが、民間バスの経営判断による休止でございますので、現在明確な御報告ができる状態とはなっておりません。

それとは別に、休止の影響を受けている地域の皆さんへの対応といたしまして、山陽団地内でお声かけをいたしましてバスの乗り方教室の開催を調整中でございます。これは、買い物や通院に不自由を感じられている皆さんに向け、休止前の赤磐循環バスとほぼ同じルートを通っているバスや近隣ルートを引き続き運行している民間バスの活用方法などをお示しして、少しでも市民の皆様の手助けになればという取り組みでございます。

以上でございます。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） その民間のバスというのはどういう内容か、運行しようとするのは。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） 今御説明したのは山陽団地の中のお話をさせていただいております、具体的に申し上げますと宇野自動車さんが岡山からネオポリスへ行ったり来たりするバスを今の西ルートを通って帰るバス、行くバスがございますので、そういうバスに乗れば何時であればこういうところへ買い物行けます、何時であればこういうところ、病院へ行けますということをそれぞれ1人ずつ説明するっていうことで、乗り方教室の話をさせていただきました。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 別の民間のバスがという意味じゃねえんじゃないな。ちょっと聞き取れんから、別のバスかと思うて最初のときに聞こえたんで、それじゃったらどういう内容なんじゃろうかなと、そう簡単にできるんかなという話で。この件に関して、市長に聞いてもよろしい



か。

一般質問もちょっとしとんですけど、不定期のやつだったら市が運営するんだったらそう難しゅうないように運行できるみたいなんで、そういう検討は、市長、全く考えてないんですか。

○市長（友實武則君） バス。

○委員（下山哲司君） そうそう。だから、早う言やあデマンドなんじゃけど、まあタクシーの大型じゃな。じゃから、この前も一般質問のときにちょっと話ししたんですけど、福岡の第一バスやこうは38市町村の世話をしょうるというようなところがあるんじゃから、少し勉強されたらええんじゃねえかと思うけど、そういうのを質問しても全く反応がねえんじゃけど、どうということなんでしょうか、それ。

○委員長（北川勝義君） 下山委員、ちょっと関連で質問してもええか。

○委員（下山哲司君） どうぞ。

○委員長（北川勝義君） 今下山さんが言って、この間も総務文教の打ち合わせをした、副委員長としたときも、この中で宇野バスの話がなかったんで、広域バスと和気のと、そのときは別に関係市町村が絡んどんじゃから、市民バスとは別に分けるべきじゃねえかって、こう分けさせてもろうたんです。それで、それは分けてくれて。

その中で1つ、もう皆さん議員が関心を持って、ネオポリス便と山陽団地便のことに関心があるんで、もう今言うても約1年3カ月からたつとんで、もうぼりぼりはっきりしていただかん。市長も市長として、ここでなられた前田副市長も積極的に行動するってやっていたきょうるけど、いろいろそりゃ表現の仕方はあるんですけど、もうこれは今、金谷議長のほうへもどうなつとんならというのも連絡も来たり、それから議会事務局のほうも来たり、我々個人にも、まあたまたま僕も、下山さんも今言うように山陽にも知り合いもおったりしとる、皆さんどなたでもおると思う、やっぱり関心があるんで、どうなつとんならというのは、市長も頑張りようる、やりよんじゃと言うだけじゃ、副市長もやりよんじゃと言うだけじゃあもう前に行かんような時代になってきたんじゃねえかというのがあるんで、あえてまあ。きょうはやかましゅう言うつもりもねんじゃけど、市長がやっぱりこういう考えも考えにやいけんとかというのもしてもらわなんだら。この間は、打ち合わせのときにちょっと言わせてもらったんかな、宇野バスさんは、勝手なときには穂崎から林野までの便をやめてバスを寄附して下さって、赤磐市へ。赤磐市が運行しょうりますわね、今。土曜、日曜とか夜、まあ仁堀便というのは全部今行ってくれよんで、そういうときはこっちだけ寄附しちゃったらええんかと、例えば山陽団地の分は今言ようことを何ぼか意図がわかりようる、何ぼかの集約してというのもあったけど、ネオポリスも1年3カ月も4カ月もたつたらもう方針を出していただかにか、民間に口挟むんじゃねえけど、公共交通の足を考えとんのは当然そういうところが社会貢献していかにかおえんからやりよんで、前の両備タクシーも岡山バスとけんかになって、国土交通省まで

絡んだ話、大問題になっていろいろやったと思う。じゃから、別に問題つくろうという話じゃねんじゃけど、市長もはっきり言って、もう2期もできとんじゃから、やっぱり活発に行動していただかにゃいけんのんじゃねえかなと今思うとる。国土交通省から副市長も来られとるし、やめられて来られとる。やっぱり活発に行動してもらわにゃ、いつまでたっても、やりよんじゃと言うて、そこであわせて下山さんが言うた、今結論はどうなったやこう言うてくれいうんじゃねえ、今こういう経過をしようとか、市長も毎月会いに行きよんじゃねえけど、副市長も会いに行きよんじゃねえけど、何かの会議のときには言うていただきょうとか文書も出しよんじゃというふうなことがなけりゃいけんのんじゃねえかなと思うて。何か言やあ監査をするじゃとか悪いことばあ赤磐市、百条委員会したり、そんな悪いことばあのじゃのうて、今度は皆さんもこういうこともひとつ行きよんじゃと、前もって経過だけ我々もちょっと聞きてえなと僕も今思うたんで。やっとなんやこう言よりゃしません、やっただきょうるけど、やっても相手がおることじゃけえなかなか難しい感もあるけど、やっぱり経過を言っただかんだら、極端な話ここへおる、まあこの中の委員は、全員の議員は知りませんで、議長初め副議長、そして全員で宇野バスへお願いに行こうじゃというて言うたら、嘆願書も書こうじゃというたら、書くんじゃと思いますわ、皆協力してネオポリスの区長さんも皆書きましようというのは書いていただけと思う。そういうこともやっしてくれえとか努力せにゃいけんのんじゃねえかって、その経過を今どうなつとるんか教えてください。まあ、よその話をするんじゃねえけど、よその話で予算が否決されたりいろいろなことになって、反対が多かったというたら、まあどことは言いませんよ、町長のほうが主になって、安心・安全をやらにゃあおえんから区長さん集まってくれえというて、区長さんから議会のほうへ請願を出そうじゃねえかというぐらいのことを、町長がまとめとるというたら言い方、市長がまとめちゃあおえんけど、陰でこうやって、事実そういうことも起きてきよんです、近隣市町村で。じゃから、市長のほうもそりゃあ手をこまねいて、副市長も手をこまねいて、はあいつてこうやって見よんじゃねえと思うん、いろいろやっしてくれようと思うんじゃけど、そういうことを考えてして。まあ、こりゃあ釈迦に説法なん、僕が演説して長うなつたらおえん。市民バスというのは昔は福祉バスというたりいろいろ名称変わって福祉バスよりは市民バスがええんじゃねえかということで市民バスが、要するに交通弱者の足を守っていくため、そりゃあはっきり言わせてもらやあ山陽やこう、怒られるかもしれんけど、優雅なもんじゃ、風呂の中へ本当にぬるま湯が入つとるようなもんで、吉井とか赤坂のことを考えてもろうたら、もっともっと吉井やこうじゃ厳しいです。でもなれとるから我慢しとるんです。しかし、吉井が今行きょうるデマンドバスが、ここにデマンド出てきた、ちょっとなつたからやめようかというてやめる検討の課題に入るといふことでも物すごくおそれとるというたらおえんけど、今使ようる人が分母と分子の関係で、まあデマンドまで話しゃあしませんが、例えば2人乗りようたとか3人ふえたけえすぐふやさにゃあおえんのじゃと便数、そんなもん丸々乗っても10人乗りじゃつたら3人乗る

だけじゃあ何ぼでもあと乗れるがな、ふやさんでもという気持ちもあるんですよ。2人のところが1人になったけんもうやめりゃあええって、1人走っていけえと言うんかというて、やっぱり分母と分子の関係もそういうこともあったり、宇野バスでもそういうことがあって再々、これが民間じゃったら我々は、福祉バスという名前がねえんじゃったらやりゃあよろしい。しかし、福祉で市民バスにしとんじゃから、やっぱり考えて。宇野バスのほうも僕は本当に全部の区長さん、議員さんが、昔の熊山の市民病院を廃止するというたとき、むしろ旗でも持って宇野バス行ったら、宇野バスの会長も、こんな人でもやっぱり苦労人で考えとる方じゃから、ちょっと待ってくれ、こういう考えもあるで、一緒に赤磐市と共同でやりてえと。うちができませんときは、休止しとるときは、例えばですよ、話の中じゃ、赤磐のほうで何とかしてくれんか、うちも協力するからというお互いの話し合いができるんじゃねえんか。まあ今市長や副市長ではそんな話もちいたあ進みょんかかもしれんけど、できりゃあ我々にも説明してくれんなんたら、いや市長が何も言わんのんじゃというたら、ほんなら市長が悪いんじゃねえかと、宇野バスが悪いんじゃねえかということしか出てこんのんですよ。そうじゃねえと思うんじゃ。じゃけえ、そこらを下山さんがあえて言うてくれたんで代弁しとる、ちょっとそこらを説明詳しくしてもらいてえと思うんで、経過わかりゃあ。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） まあ一番問題なのは、今まであったもんがなくなったときに手を施さんというのがまず一番悪い。新しゅうするということのならそれなりの準備とそれなりのあれが必要じゃから、時間もかかるかもしれん。じゃけど、あるものがなくなったときに手をかけるのは、そんなに大がかりじゃのうても最低限で早くできる方法というのがあるんじゃと思うんよ。それを1年経過した時点で手をかけんということ自体は、もうこれは不作為なんで、いつも言うように。早急に何とか方法を。じゃから、一般質問で言うたように、僕がちょっと手伝うてもらうて、おい、あれ調べえ、これ調べえと言うたぐらいでも結構出てくるのに、何で行政としてできんのかなと思うん、それが。こういう方法もあるからこういうことを考えたい、市長が執行権持っとんじゃから、やっちゃろうという気があるんだったらすぐできると思うんですよ。それに議会が反対するようなことは100%ないんで、どうしてそれがしてもらえんのかと思うから一般質問しよんで、やっぱり一般質問の上でやったら何ぼか反応していただきたいという考え方。

それから、田舎とか町とかという方、吉井でいうたら5キロバスに乗るのも、ここでほんなら山陽団地1キロ乗るのも、乗ることにしては一緒じゃと思う。1キロ歩くのも5キロ歩くのもいうて、歩けば1キロと5キロ違うかもしれんけど、利用することに関しては1キロも5キロも一緒だと思うんで。時々見るんじゃけど、おばあさんがマルナカかどっか買い物して帰りょんじゃと思うんじゃけど、荷物引きずってずうずうずうずう、小さいこまのついたやつを

持って帰り歩きよんを見たら乗せてあげようかと思うんじゃけど、まあ手を出しちゃいけないと思うから何もせんじゃけど、時々見るんです、あれを。見て、年寄りが暑いときにあの荷物引っ張って団地の上のほうまで帰るんかと思うたら、気の毒に思うよ。それに手を差し伸べれんということは行政のもう全く不作為と思うんで、それに関して市長、ちょっと先行きのある答弁をひとつしてください。

○委員長（北川勝義君） 答弁はええんじゃけど、今とりあえず行動しとった、活動しとったとこの状況を聞かせていただきたいというのがあって、それから僕はもう1個本当のこと言いたかった、あれは岡山県営住宅じゃけえ、県もどのような力入れよんじゃろうかなとちょっと1個思うて、その県のことまでじゃねえんじゃけど、今そう思うたんで、わかれば今した活動範囲、市長でも副市長でもよろしいんでお答え願いたいと思います。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 私のほうからは一番大きな方針についてお答えさせていただきます。

まず、確かに循環バスが路線休止となって随分時間がたちました。私たち執行部としては、この循環バスのみならず赤磐市の市民の足としての市民バスあるいはほかの民間のバス含めて、考え方の基本は大きく分けて2つあるかと思えます。1つは、利用する方をふやしていく、利用促進を図っていくということが1つ。それからもう1つには、ルートあるいはこの路線、それから停留所等の位置、そういったもので使いやすいようなものに見直しをして、絶えず改良していくということがもう1つの方向性だと思っております。

まず、利用促進については、先ほども担当からありましたように、市民に対して呼びかけをし、そして現地へ赴いて利用する、潜在的な利用者も含めて利用をしやすい形をアピールすることが今なされているところでございます。

それから、ルート等の見直し、ルートの増設も含めて見直しをするということがもう1つの大きな鍵になるかと思えます。これについては、現在走っている民間の営業路線バス、それと赤磐の市民バス、それから共同で運行している広域バス、これらがそれぞれの役割を果たしながら、特に民間のバスについては営業をしているわけですから、こういったところへの配慮というのは不可欠でございます。こういったものをかけ合わせながらルートあるいはダイヤ、こういったものを見直していかねばならない。そして、これが実現することを前提に公共交通会議にお諮りをして、これを承認いただいて初めて運行ができるようになるわけでございます。そういったところをあわせて2つの基本事項をそれぞれに我々促進をしまっているということでございます。

それぞれの現在の状況については、この後担当のほうからお話をさせていただきます。

以上です。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） その前に1つ。前からずっと言よんじゃけど、今まで宇野バスがやってくれようたときのデータがあるんじゃから、それを補う最低限のスタートを切っというて、それでようするんならその先をすればええんで、話ばあしたって何もならんのん、協議したって。いろいろ資料見たら、運営協議会か何かわからん、しなければならんということになつとるから、それはすればええんですよ。そうせんと許可がおりんのじゃから。じゃけど、不定期路線に関してはこの会議にあらずということになつとんで、タクシー業界さえオーケーできたらもう運行できるんじゃから、タクシー業界に委託するとかすればええんで、別にすぐ手だてはあるん。僕が考えてみてもすぐできるなと思うん、聞いても。だからやっぱり、今大きな形をきちんとしたもんをするんじゃなしに、今あったもんがなくなったんじゃから、その補いはどうするんですかということ聞きよんで、する気があるんじゃつたらもうどうにしろよ、僕だったら。僕はそう思う、する気があつたら。だから、その辺の答弁をください。

○委員長（北川勝義君） 今関係の部長の答弁、それを聞いてから。まあ下山さんと僕も同じ考えで、あいとるときの間が2カ月や3カ月じゃつたら、ちょっとまあこれはいたし方ねえ、1年3カ月にもなつとるから、市長初め各関係部長、副市长やこうも努力されとることはもう重々わかつとるわ、相手がおることじゃけえ。じゃけど、そんなこと言うんじゃつたらほかのもっと、広域バスの穂崎からのはやめりゃあええがん、6人か7人一月に乗るんじゃ、そんなもんやめても構わんがん。それより……。

○市長（友實武則君） そんなことはない。

○委員長（北川勝義君） いや、極端な話で、それぐらいのことをやめてもできるんじゃねえかということ言ようるわけじゃ。どっちが大事なんならつていうたらそっちの足のほうが大事な話ができるんじゃねえかと。そりゃどれが正しいとか言よんじゃのうて、結果論のことを言うたら、今下山さんと言ようる、ちょっとのことでもするんじゃつたら僕ははっきり言って山陽団地、ネオポリスって吉井よりも恵まれとると思うとるけど、しかし歩くのも一緒じゃということいろいろ考えたら、できたらやってあげるほうが、何らかの方法が、小型のバスでも10人乗りでも何でもええ、ちょっとしたらできる方法論が、それで行政ができのんじゃつたら商工会頼んで民間委託でいろいろ方法論あるんじゃねえかなってちょっと思うたんで、ちょっと時期がたち過ぎかなというのを言いたかつたんで。

市長。

○市長（友實武則君） 今私が説明した内容というのは、現在の走行している市民バス、路線バス、それから広域バス、こういった分野に限った話をさせていただきました。下山委員の質問の趣旨の中に、それ以外のデマンドタクシーとかそういったことに対する可能性をお尋ねだということですので、これについても今の市のほうで実現性を検討調査しております。それについて今の状況を、この後担当のほうからも説明をさせていただきます。

○委員長（北川勝義君） 部長。

○総合政策部長（安田良一君） まず、状況なんですけども、何度かうちの課長のほうが社長ともお会いをしてお話を今させていただいてる状況です。

宇野バス自動車株式会社様の循環バスの休止についてですけども、先ほどうちの課長からも話がありましたように、山陽団地につきましてはほかの宇野バス様が運行されている路線がありまして、そちらのほうへ乗りかえていただくというか。多少バス停の位置が変わったりしてちょっとお手間をとっていただくこともあるんですけども、そこら辺についても今回、乗り方教室なんかをさせていただいて、今皆さん住民の方もそういうこと自体、まあうちのほうも悪いんですけど、情報を発信できてないので、そこも含めてそういう乗り方とかいろいろ工夫もお伝えできればというふうに考えております。

あと、デマンドバスにつきましては先ほども市長のほうからも答弁ありましたように、現在研究というか、やり方についてはいろいろ研究もありますし、国の動きも前の答弁にもありますように、いろいろ国のほうも法律のほうもいろいろ工夫というか改正とかもされてるような状況なので、それについてはいろいろ研究してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（北川勝義君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 僕が今言よんのは、そんな立派なやつをやるのは時間かけてやらせてもらやあええんじゃ。そうじゃなしに、今まであったものがなくなったんじゃから、ほんなら今まで宇野バスが循環バスをしてくれるということは、前のあった定期路線から外れた部分のカバーなんじゃから。それをやりかけて3年もやって、その後に、はい、やめましたという話じゃなしに、それを利用した人がもう定着しとったんじゃから、その人をどうやって守ってあげるんかっていう話をしょんで。じゃから、一番簡単ですぐできる方法というたらタクシー業界へ投げてでも、その次のができるまでデマンドタクシーでやればええんじゃないかという話をしょんで、それならできるというて国交省のあれへ出とんじゃから。タクシー業界さえ折り合いがいたらできるんで。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 市長。

○市長（友實武則君） 済みません、ちょっと内輪で意思統一のための休憩をお願いします。

○委員長（北川勝義君） その前に、休憩の前に一言言っておくから。

例えばこういうことを考えて。これは藤井さんに該当するかもしれん、教育長の。例えば給食センターの運転手さんが皆やめたら、事故して車がのうなったとか、例えばというたらこの間から赤磐バスを受けとるところの城南小、吉井中のバスが、仁美のバスがようめげよう。途中ピストン輸送まで峠で乗りかえたりしていろいろある。車買いかえるとかリースするとか業者から持ってくる、いろいろ方法論はあると思う。それは何とか対応していただきやあええ

んじゃけど、仮に小学校が今のようなことで、赤磐市が経営じゃけえというてどっか委託でうちはやりませんって、僕が、北川というバス会社がやりませんと、あわんけえやめたんじゃと、その路線はあわんけえ、お金にならんけえやめたんじゃと、契約しとって、そしたらどうするんかな。例えばバスがのうなったからというたら、赤磐市もほんなら皆さん歩いてきてくださいよと言う、その間には父兄がするとか小学校単位でやるとか、下山さん言うた、緊急の避難するために家族で乗り合わせるとか小めえバスでも出すことを考えるんじゃねえかということを言いたかったんで、それを下山さんも言ようる。僕もまだ1年たたん前じゃったら言わん、休止になってからずつと言うてきょうるわけ。もう1年3カ月もたちやあ、ぼりぼりなかったらいけんのじゃねえかと。確かに宇野バスの交渉のことがある、そりゃいろいろ。はっきり言って、宇野バスがやめてくれえってやめりゃあええんじゃ。循環バス行きませんけえいうて、ほんならうちも考えにやおえんが。それ今言よんのは、2人未満になったら切り捨てるんじゃとか、考えにや、検討せにやおえんいうて、検討するというて、そんなのはなかったところがせんのは我慢できるん、新しゅうしたのが、ちょっとは問題ねえ、やっとなところかやめたら大変なことになるんで、まあ1個山陽団地についてはほかのことを考えていただきようるって市長も言うたり部長も言ようられるけえええんじゃけど、もうちょい詳しゅう経過をわかるようにして。

ほんなら、10分ほどあったらええですか。11時まで休憩します。

午前10時46分 休憩

午前10時58分 再開

○委員長（北川勝義君） 再開します。

執行部のほうから、非常に微妙な問題もあるんで、忌憚のない意見を言いたいということで、お話ししたいということで、協議会に切りかえさせていただきたいという申し出もありました。

委員の皆さん、協議会にさせていただこうと思いますけど、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） それでは、時間も、傍聴されとる方もおる、傍聴はどうこうということはありませんが、時間のこともあるんで、20分ほどで協議会を終わりたいと思いますんで、またよろしくお願ひしたいと思います。

それでは、協議会に切りかえたいと思います。

午前10時58分 休憩

午前11時30分 再開

○委員長（北川勝義君） 委員会を再開します。

他に質問ありませんか。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） すぐ答えが出るんじゃないんですけど、直接教育委員会のほうへもお電話等が入るとるでしょうし、議会の方々もいろんなところで取り上げられとることだと思いますが、ここへ先ほどそれぞれの施設の利用状況が出ております。その中でご指摘があって、瀬戸大橋ができる前の交通博かなんかのときの建物をもらったやつじゃと思うんですが、この中の施設のどこに入るんかわかりませんが、バーベキューテラスであるとか向こう側の太陽光があるところの入り口の建物、散歩がてらよく行かれたり、あそこで涼んでおられる方もたくさんおられます。いろんなご指摘を受けとると思います。けがや事故が起こる前に早急に修繕をかけてください。床板が浮いてつまずくようになつたり、バーベキューテラスも似たようなことになりようようです。この辺を早急に取り組んでいただければ、こういう数字にもいろんな面ではね返ってくるんじゃないかなと考えますので、その辺の御見解をお願いします。

○委員長（北川勝義君） 答弁よろしいな。要るか。

○委員（大口浩志君） していただけるんなら。

○委員長（北川勝義君） 土井さん、言わにゃあ、早う。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） 御指摘いただいた山陽ふれあい公園の施設管理でございますけれど、体育施設が赤磐市内にかなりありまして、スポーツ施設の整備計画に基づいてさせていただいておるところでございますけど、緊急を要するところ等につきましては、それぞれその場で早急に対応していきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○委員長（北川勝義君） 市長、悪いけど、事前キャンプもほぼええげにいかさにゃおえん、いくような気がするんじゃけど、したときに直に通らんかもしれんけど、バスが通って利用、ほかの人も見に来る場合があるがん、赤磐市外から来られたときに。そのときに、悪いけど通りょうらんふれあい公園の辺の入り口が汚かったり、まあきれいなというほうがええと思うんで、予算上のどうのこうのがあろうけど、やっぱりこれを機にできるところはやってください。また検討して、藤井さんはずっと言ようる、それから土井君は順番があると。順番はよくわかるんです。急遽ということもあるんで、そこもちょっと今後考えていただいて。答弁よろしいけえ、また整備するように。どこでも、よその家は知らんけど、大体どこでも家の玄関というのはきれいにしとろう。裏のほうは草が生えとつても、まあぼっけえしてねえのは下山さんとわしぐれえじゃけど、家の草も刈ってねえけえ2人ともぼっけえ言えれんけど、きれいに大体するんじゃ。じゃけえ、ちょっと見たときに、第一印象じゃけえきれいななあと思うたら、ここ赤磐市がええなあというの、ひょっとそれが間違うて定住にもつながる可能性もあるし、ぜひそういうことを考えてください。まあ答弁よろしいです。

ほかの人、何かありませんか。なかったら、ちょっと言いたいこと言っときますわ。



○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（北川勝義君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） なかなかお礼の御報告ができておりませんでしたけど、中国銀行赤坂支店前の交差点改良とか信号機の改良に伴い、由津里・山口方面からの無駄な渋滞が解消されております。というのが、感知式の信号じゃったんですけど、その真下しか感知せんようなやつで、手前でとまってずっと大渋滞というのが何遍も起こりようりましたが、今はLEDの信号に変わるのとセットで、ちょっと早目に感知をしていただくようなシステム変更というのができるとようなので、くらし安全課のほうから県警に言っていただくのか、どこが所管をしておられるんかわかりませんが、改めて住民の方から渋滞が減ったというようなお声があるということで、引き続き、いろんな場所がまだあろうかと思えますけど、随時よろしゅうお願いしますということでお伝えいただけたらと思います。

以上です。

○委員長（北川勝義君） ちょっとほんなら1個。

総合政策部のバスのほうで見直しかけるということで1.9じゃとか2%以下はかけるとかいろいろあるんじゃないけど、何が言いたかったというたら、2%が1.92じゃったとかというのは、ちょっとええというたら悪いけど、1.2%が1.16になったけえ見直しかけにゃおえんというて、かけてのうて毎度少のうなってきたんじゃないけど、1.1ありゃあ2人じゃけえ、極端な話すりゃあ。じゃけえ、会議で検討するという基準になつとるから、基準はどっか決めとかにゃやっていたきゃあええんじゃないけど、少ないところもやっぱり考えていただきてえ。それから、例えば石蓮寺のことを話を僕したらおえんけど、2.1が2.81になったけんというても3人じゃがん、どっちみち。2.1も2.8も。じゃから、これでふやす、増便するんじゃないとかバスを大きゅうするということでも石蓮寺に上がってくるバスは余り大き過ぎてもおえんし、できたらそこらも考えてもろうて、余り大きいバスじゃたら10人乗りとか小めえのをするというのも1つの方法じゃねえかなとちょっと思よんで、そこらを考えていただきてえというのが1個ありましたんで、ちょっとしていただきたいと。

それで、もう1個提案として、これは考えがあるかねえかは別で、デマンド、デマンドと言ようけど、デマンドもなかなか、これを見ていきようたら、吉井していただきょんじゃけど、なかなか乗る人が少ねえ路線がなってきたらというのは、これだけ人口が少のうなってきたらということなんです、結論的には。吉井の僕の周匝、中村でもわざわざネオポリスへとか山陽へ施設へ入りようる人が、ひとり暮らしの、特に男になったら、元役場の職員のお母さんでもおらんようになったら妹のほうへ、兵庫県へ行くとかって、向こうのほうで見てもらう、施設へ行くとかって動いていきょんです。数がだんだん少のうなると、今回うちの近くで54人、75歳以上の敬老があるんじゃないけど、やっぱり敬老会出席するのは20人もおらんのです。20人ぐれえしか、もう少のうなると、本当は30人ぐらのおるの、それでもうどうならって今

申請書も出したんじゃ、結果的には山陽のここへおるって、施設へおるんですよ。施設まで持ってきてくれんでもええって息子さんや娘さんは言われるんじゃけど、持っていかれた方は物すごい喜んで、誰が来とったかって、敬老の関係ねえ写真まで持っていったら喜ぶんですわ。そういうなんもあるんで、ぜひこれ、何が言いてえというのはもうちょい、場所が人口少のうなるけえこれが下がっていくというのは分母が少ねえからという意味の言い方しよんで、できりゃあもっとこれやり方が、特にデマンド、もう少し検討してもらいてえと思うわけ。時間的とか。例えばというたら、初代市長の荒嶋さんが赤磐・和気のほう行きようるときに、片鉄がやりようるときに、空気ばあ運びようると言うて言うてくださるん。下山さんも知つとるわな、言ようたの。確かに僕も何遍か見たら、ほんま1人も乗とらん、運転手が乗とるだけで空気運びようのあったん。それはあるけど、塩田のところまで1人乗ったりするわけ。もう仕方がねえけど、見よって。じゃから、そういうとこがあって、そのときにもう鶴飼谷温泉寄ってくれっていうたら、鶴飼谷温泉寄らなんだんですよ。寄らんと。吉永やこうでも、吉永の吉永病院は寄らんと、駅じゃねえとかいうて。吉永病院行きてえ者じゃったら乗るんじゃけどというんで改革したら乗れるようになったんですよ。やっぱりそういうのがあったんで、ぜひ見直しをちょっとかけるのを目をつけてもらいてえと思う。何か減せえというんじゃねえんじやけど。

例えばというたら、申請するのは難しいかもしれん、きょうは桜が丘の1丁目のAというところで乗りようたのが10人おったと。今度は、そこはゼロになるかもしれん。次の年というか2年後には桜が丘のAの5というところがゼロじゃったのが10人乗るようになった、そこを変換してあげりゃあええんじやねえかということじゃ。そしたら乗りやすうなってくるのがあるけえ、もっと調査を、バスに乗ってやりようるアンケートもあるけえ、ちょっとそうしていただきてえなと思う。

それで、ちょっとこれは要らんことなんじゃけど、スクールバスの事故でいろいろというたら、今度は市民バスも併用しようるときがありますがん。これは違うかもしれんけど、それでできたら吉井の城南小学校、仁美のバス、吉井中学校のバスがよう故障しようるわけで、それはリースにするのか業者が持ち込みにするのか市が対応するのか、それはどねえでもええ、どねえでも応じてあげてくれりゃあええんじやけど、安全にせなんだら、前もしとったけど、やっぱりこういうことが起きてきようるといことがあって、寿命も何十万キロ、エンジンがめげるようなこともあったりするんで、ぜひこのデマンドだけで吉井の話だけしてもろうたら、デマンドだけじゃったら回らんとこがあるんですよ。デマンドきめ細やかにしてもなかなか難しいところが。その間に小学校のとか、中学校は要らんでも小学校ぐれえ、なるべく10人乗りぐらい小せえバスを1日1路線か、あいとるときに流すようなことを考えてあげてくれりゃあええんじやけどなとちよっと思たん。そうしたら、かえってそれをするることによって、テストですよ、それ。することによって、デマンドがもう西勢実は行かんでもええんじやという

ことになるかもしれんわけ。それに乗るか、その時間帯がうめえことマッチしたら。そういうことを一遍検討してもらいてえ。あえて路線をふやせとか、金のかかることをぼっけえせえというんじやのうて、要らんのところやってほしいなど。そりゃまあそれだけ努力しようと思うんじやけど、できりゃあそういうことを考えてほしいと思う。

それで、言葉は悪いんじやけど、今ごろ仁堀の人でも周囲の辺の人は、もう美岡へ来るんですよ。入り口まで来るんです、こっちへ。こねえ来んでも向こう行ったほうが近かろうというたら、いや瀬戸へ行くのはこっちのほうが近いんじやというて、わざとここまで戻ってきょうる人がおるんですよ。何でというたら、僕と同じようなこと言うた。信号がねえけえ安全ながんというんじや、気を使わんでもええ、飛び出しがねえからという話をしようたんで。ぜひ、そういうことなんで、逆に言うたら赤磐というたら吉井だけじやのうて、向こうへ行ける、広域的な医者へ行けるルートというたらおかしいんじやけど、熊山おりたら医師会病院まで行けるとかという、ちょっとこういうのを1個つくってくれりゃあええと思う。これはまあすぐじゃねえんじやけど検討してもらいてえと思うんですよ。どれがええかというのはわからんけど。それが今やりようる小学校のスクールバス使うてもええし、どっかの委託でもええし、ちょっとそういうことを考えていただきてえなと思う。今後検討してください。これ今答えくれえというんじやのうて、これは切実なというのが、市長も言ようる救急医療に関することで、救急車ばあ使うのが能じゃねえから、行けるんじやったら自分で行ってもらやあええと思うて、そういうことをちょっと今思うて。

それから、ええこと悪いこと言うけど、勝央町とか津山も行きよんじやけど、やっぱりこっちが多いんです、来よんのは、吉井の者からいうたら、何か山陽は近えというんか、医師会病院とか何かあったら出てきよんで、ぜひその足を確保してもらいてえというのが今要望なんです。

それからもう1個、子どもパスポートのことで、全然関係ねえかもしれんけど、子どもパスポートの1月までのあれ、ええと思うんじやけど、できたら早う広報してやってほしい。ずっとしちゃって来て、小学校なら知っとるけん言うたらわかるのに、親が。せえでこれ中核市、県内の65の施設の中でいうたら、よそのところを見たら例えばというたら津山城跡とか公園とかあるがん。うちはこの4カ所だけって、悪いと言よんじやねえで、できりゃあ、どういうんかな、まあ指定管理しとるけえ、ふれあい公園やこう違うんかもしれんけど、もっと、吉井でもドイツの森でもな、民間じゃけえどうなるかわからんけど、ドイツの森じゃったら吉井地区の方はというて無料券出しようたん、入場が、小学校とか。やっぱりそういうなんしたらそこも相乗効果ではやると思うんで、そりゃできるかできんかわらんよ、その辺のは、ちょっと1つしてもらいてえなというのがあったんです。

それからもう1点、8月5日に記念式典やられるというたんじやけど、ホッケーの。それで僕もホッケーの会議出とんじやけど、このシャツじやな、Tシャツ。何か聞いたら500着って

書いとるわな。平尾さんは、会議に市長もおられたわな、教育長もおられたんじゃ、会議のときに、このTシャツを着てスタジアムをいっぱいにしちゃりてえと言うたと思うんじゃ。わあところやってしちゃりてえ。500着じゃったら関係者が見たらもう少ねえんじゃねえかと思て、佐藤副委員長としようるときに、お金のこともあるんじゃろうけど、全員行った者が、500着その日に着てくれりゃあええで、少なかつたりするんで、もうちょい、これは市長、お手の物じゃという専決でもちょっとふやしたらどんなですか。僕は今それを思うたんで、これがまた来年もできるんじゃというて、来年もあるんで、再来年もあるんじゃというたらええがなと言うけど、4年に一遍のことじゃけん、ぜひここでやるんじゃったら岡山、赤磐ここにありじゃというていうのもええかなと思て。

それともう1個が、9ページのこの15万円、県委託金の。これも言うたんじゃけど、使う金がねえからええというんじゃけど、ホッケー教室の講話じゃ何じゃかんじゃというけど、これほかの予算があるけえ流用して使えるんかもしれんけど、そうじゃねえ、まだ事業は先ですよというて言うけど、できたらこの磐梨中学校やるということでも、これは専決でも何かでもしたほうがええのかな、要らんことを言よんじゃけど、ちょっとでも早う使うとったほうがええんじゃねえかなと僕は思うたんで、この数をふやしちゃろうという意味のことも踏まえてよ、言よんのが、ちょっと思うたんで、どんなですか。そののところ、パスポートのこともじゃ、これがちょっと聞いたかったんで、どんなかわかればお答え願いたい。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） ホッケーのニュージーランドのキャンプ誘致でのTシャツの件でございますけれど、販売は500ということできさせていただいております。予算上で幾らかふやすようには検討はさせていただいております。

○委員長（北川勝義君） もうええわ、そんな話しょうらん。あんな、サッカーするのに湯郷はやっぱり、見とんじゃねん、友實市長も大先輩の市長じゃが、行ったらな、サッカーのときに待ったら旗がほんまに英田町の端までがずらっと行くわけじゃ、行くとき、道々。うちはのぼりどこへ立てるんか、シャツもどうするんか、どこならいうて、この間恥ずかしい話が、6月30日にいろいろあつたけん、通夜が、話をしょうて、葬式をしてじゃけえ7月のときに話をしょうたら、ホッケーがあるからホッケー来てくれにゃおえんからってちょっと宣伝したんじゃ。そしたら、岡山市の親戚が、ああ、わかるわかるっていうて、どこと言うたら、瀬戸のことばあ言うん。何を言よんならって、違う、そうじゃねえ、こっちへこう来て、そがんとこあつたんじゃあ、岡大の目瀬先生がしたときに、是里ワイナリーがあるんじゃというて、小学校のところへあるんじゃというて。あそこのところにホッケー場できてオリンピック仕様なんじゃというてこう言うたら、ほおんと言うてぐれえなもんなんじゃ、関心が。そこの子供はサッカーも湯郷Be11eおったようなけど、そんなとこへ関心がねえわけ。じゃけえ、なかつ

たらちょっとのぼり何かせなんだらいけんのんじゃねえかなと思うて、何かそういうもんもあって、土井課長な、もうちょっとお金をかけにゃあおえんのんじゃねえかと言いたかったんで。

僕らみたいな貧乏人の銭失いで、ちょっと台所悪いというたら台所の一部だけ直して、また今度はその隣のドアが悪うなったけえ直したというんとで、そりゃあここをするんだったら、そう何遍もねえ、ここで一発目でばちゃっと金をかけてのぼりもして、ここであるいは民泊でも、まあ民泊はまだ先で、できるようにしとったら、今度は逆に言うたら4年後には、そりゃもう赤磐の磐梨行かにゃおえんというところも出てくるんじゃねえかと思うんじゃ。そういうことをちょっと、それに使うことに、言葉は悪いけど政倫審じゃ百条じゃ何じゃかんじゃというて要らんことで悪いイメージより、でえれえぱっとやったんじゃというたら、そりゃええんじゃねえかと思うんじゃけどな。そういうことを。それで専決したらどねえなんでいうて市長に聞いたかったんじゃけど、まああんたが金があるけえよろしい、できると言うたら。それでもやってみい、今度はテレビ放送になるぞ、もし決まったりしたら。テレビで放送したら50人ほどがちょちょっとこうあって、虫を潰したようになってたら全然意味ねえで。いや、僕はそう思うんよ。市長どう思われるか、教育長も。僕はすべきじゃねえかなと思うてな、そう思うたん。どねえ思われるか、市長。500人集まるんだったら集まるで、それを回しあええんじゃけど、どう思われるか。

友實市長。

○市長（友實武則君） 私は全く同感です。たくさんの方が出迎えて、たくさんの方が同じシャツ着て歓迎ムードというのは、想像しただけでも盛り上がっていくと思います。今何着注文しとんのかわかりませんが、これがもう8月5日です。今から増産ということもなかなか難しいかと思えます。今回はしっかりこれで応援して、今ある材料を最大限に使っていくということで歓迎し、そしてその次に来年の本大会直前キャンプを何としても誘致するというので、その際にさらにこの応援の輪を広げていく、そういう中でシャツの増産というんですか、そういったことも十分考えていく、そういうふうに考えたいと思います。

○委員長（北川勝義君） それに絡めてもう1個言うとかにゃおえん。磐梨中学校だけがやる、単純に言うたら磐梨じゃというような感じになりよんじゃけど、そうじゃのうて、赤磐市全体がやらにゃおえんのんじゃというふうに持って行ってほしいんですよ。小学校、中学校に関して特に言うたら、ああ、そうじゃなあと、まあ学校休みにしてから連れてきちゃれえとは言わんのじゃけど、何らかのパンフレットとかその後の活用じゃわな。これどうなるかわからん、ビデオやこう撮れるんでしょう。撮ったら、それを学校の研修に、各小学校とか中学校に使うてもらうのも大事なことじゃと思うんじゃ。そういうことも考えてほしいということが1点。

それでもう1個が、サポーターの話をいろいろあるんじゃけど、藤井教育次長、言い方悪い

んじゃけど、これ前にも言うて教育長もしてくれて、和気閑谷高校も入れましたが、瀬戸南も入れたりして。学校のあの人権の関係、いろいろしたと思うんじゃ、校長先生が出てこられて。できたらこれ、赤磐も和気高へ通ようる子も多いし瀬戸高も多いと思うんで、そこらの、そりゃ津山じゃどこまで言い出したら切りがねえんじゃけど、その関連近隣の市町の高校ぐれえにはやっぱりPRというのを何かしてもらってすべきじゃねえかなと今思う、それはもうわかると言うんかもしれんけど、ぜひ力を入れてもらいてえなとちょっと思うたんで。まあ入れられとると思うんじゃけど。

それで、今後の詳しい話ししたらおえんのじゃけど、8月5日に何かやられると言うたわな。言わなんだかな。5日に歓迎式を予定すると言うて、10時からと言うて言われたと思うたんじゃ。どねえなことをされるんじやろうかなと思うて。歓迎式、どういうやり方を何かされるんか。どねえ呼ばれるというのが、ちょっとわかったら教えていただきてえ。

課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） 歓迎式の詳細はまだ検討中でございますけれど、一応ニュージーランドの女子ホッケーの方が来ていただいて、皆さんで出迎えるのにニュージーランドの国歌を磐梨中の吹奏楽部によってお出迎えして、皆さんで歌おうということでございます。それで、ニコイチの方も来ていただいて、ニュージーランド国歌を斉唱しながら皆さんで出迎えようということを考えております。後はあちらとまだ調整中でございますけれど、その日にどのような練習をするのかというのはまだちょっと調整中でございますけど、こちらからとしては来たときにみんなで出迎えるようなことを考えております。

○委員長（北川勝義君） ありがとうございます。8月5日から11日までがホッケーのキャンプをするということで、8日、9日がさくらジャパンと練習試合じゃということと言ようりましたな。それで、来たときにどういうやり方をするというのが、何が聞きたかったという、その国歌歌うたり拍手するのはええんじゃけど、出迎えた後で試合を見るのか、5日にはどうするのかなというのをちょっと聞きたかったん。何もせん、出迎えて大騒ぎするというて終わりか、何かするのかなというのを、詳細はわからんでもええ、ちょっとどんなか。というのが何で言ようというたら、赤磐市議会議員の研修会が2時からここでやるようになってるわけじゃ。じゃから、何時ごろ終わってどうなんかなと、そこへ行ってから、議員だけじゃけどな、どうなんかなと思うて。

課長。

○社会教育課長兼スポーツ振興課長（土井道夫君） 歓迎式につきましては、練習もございまずので、もう簡単に30分程度で歓迎をしたいとは考えております。

○委員長（北川勝義君） まあええ、よろしい。また詳しくわかったら教えてください。いうのは、出迎えて終わるんじやったらええんじゃけど、何か今思うて、出迎えのときにシャツでも着とって出迎えるんかどんなかなと思うて。また詳細がわかったら教えてください。

後から、どうせなろうから後からあれもしときゃよかったなという可能性が多いと思うんじゃないけど、まあそこらもちよっと今思うたんで。よろしいです。

ほかの人ありませんか。

○委員（永徳省二君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） 繰り返しますが、赤磐循環バスの休止に関してなんですけど、私この話を総合すると行政として結果的に対策打ったのは山陽団地の乗り方教室だけかなというふうには私は理解しとんですが、桜が丘地区で何らかの対策は打たないんですか。

○委員長（北川勝義君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） 桜が丘地区につきましては、基本的に対策を打つといいですか、市民バスの路線変更というのを検討して、実を言いますとその提案をいろいろさせていただいたところなんですけど、大和ハウス、具体的に申し上げますと桜が丘の頂上から大和ハウスの事務所に向かって右へおりの路線、その中の路線のみが……。

○委員長（北川勝義君） どっちから来てどっちの右なんか。

○政策推進課長（花谷晋一君） 桜が丘の頂上から向かいまして、大和ハウスの事務所へ県道通って向かって右へ折れた部分、その部分のみ今回の循環バスが走らなくなった、まあ循環バスしか走っていない路線であったということで、そこについてはどちらか両側へ出ていただきますと市のバス、宇野自動車のバスが20分に1本走っておりますので、今のところ桜が丘につきましては具体的な対応はとっていないのが現状でございます。

以上です。

○委員長（北川勝義君） よろしいか。

他にありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） なければ、これで質疑を終了します。

続いて、2番目のその他のほうへ移りたいと思います。

その他のことについて説明願います。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） くらし安全課から、総務部の資料をごらんください。

くらし安全課から、AMD A災害医療機動チームについて御説明をさせていただきます。

資料の1ページをごらんください。

先般、議員の皆様には7月3日の市長の記者会見がありますということでお知らせをさせていただいた内容とほぼ同じでございます。赤磐市と認定特定非営利法人AMD Aで連携協定を締結させていただいております。このたび自治体、医療機関、企業、NPOなどが一体となり

まして、災害時の支援活動を円滑に行うことができるように連携をするための災害医療機動チームを発足させるということで準備を進めております。発足は7月28日を予定しております。

チームの業務内容につきましては、被災地で被災した医療機関等の支援、避難所への巡回診療、AMD Aの医療従事者、赤磐市としてはこれの後方支援を行うというものでございます。具体的な赤磐市の役割としては、同チームへ司令車の提供、AMD Aへ赤磐市から出向しておる職員の出勤、それから被災自治体との連絡調整というのが主な赤磐市の役割となっております。詳しくは2ページ目を参考にしてください。

説明は以上です。

○委員長（北川勝義君） 続いて。

○消防本部消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○消防本部消防総務課長（檜原秀幸君） 平成30年（後刻訂正）上半期の火災、救急の概要について御報告申し上げます。

失礼いたしました、令和元年でございます、訂正をよろしくお願いいたします。

資料1ページをお開きください。

初めに、火災の概要ですが、令和元年上半期における火災件数は11件で、前年同期より11件少なくなっております。火災種別で見ますと建物火災2件、林野火災2件、その他の火災7件となります。その他の火災の内訳は、枯れ草焼き6件、不明が1件となっております。損害額につきましては、資料をごらんください。また、火災による死傷者は発生しておりません。

次に、救急の概要を報告いたします。

資料2ページをお開きください。

救急出動件数は837件、傷病者搬送人員は787人で、前年同期に比べ出動件数は68件減少、それに伴い搬送人員も54人の減少となっております。考えられる理由といたしましては、救急講習を利用して救急の適正利用を訴え、赤磐市の健康相談ダイヤルの紹介をし、また病院に対しても転院の折の病院間搬送をお願いした成果が出ていると思われれます。

次に、資料の3ページをお開きください。

各地区消防施設整備進捗状況についてでございます。

まず、可搬積載車更新事業ですが、本年度は2地区の更新を予定しておりまして、山陽尾谷地区、赤坂西軽部地区です。既に地区区長と業者の間で契約が交わされ、車両の仕様の詳細打ち合わせも終了し、現在は艀装ポンプメーカーのベース車両の納車待ちの状況です。

次に、小型ポンプ更新事業でございます。

熊山の勢力地区からの要望により、40年経過したポンプの更新でございます。勢力区長と納入業者間で6月21日に契約が交わされ、地区への納品は7月28日の予定でございます。

最後に、資料はございませんが、第32回消防救助技術岡山県大会の結果及び第48回中国地区



消防救助技術指導会の出動について御報告いたします。

令和元年6月12日、岡山市中区桑野にあります岡山市消防教育訓練センターにおきまして、第32回消防救助技術岡山県大会が開催されました。結果は、ロープ応用登はん1組が2位、匍匐救出1組が5位の成績をおさめ、あす18日、第48回中国地区消防救助技術指導会に出場いたします。結果は来月の委員会で報告させていただきます。

また、本年は8月25日日曜日に同会場で救助全国大会も開催されます。日本全国から救助の精鋭が集結し、最高レベルの救助が行われます。この機会にぜひごらんいただけたらと思います。同時に、会場では消防イベントが開催されます。車両の展示や試乗を含め、子供たちが体験できるブースがたくさん開かれますので、都合がございましたら御家族そろって会場までお越しいただければと思います。

以上で報告を終わります。

○委員長（北川勝義君） 報告が終わりました。

何か御意見ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） なかったら、消防のほうの救急の2ページのほうじゃけど、年齢別搬送人員というて、今ごろ赤磐市も、老人（65歳以上）なんじゃけど、そののところをもうちょっと。これから働けというのになんていろいろあるんで、もっと詳しく分けえというんじゃねえ、75、敬老金を出すのが70歳以上かぐれえ、ちょっと分けたほうがええんじゃねえかなと思う。これもできりゃあ、面倒なかったらええけど、そう大したことはねえ、調査ですぐできると思うんじゃ。もししてくれたらわかりやすいかなと思う。ここへおる、大体65になるのが多いし、まあ大口さんと永徳さんが65になるのは、多いんで、ぜひ。それもどのくらい動きよんかなというたら、今十把一からげが65歳以上というたら皆何かなりそう。ちょい考えてもらいてえなど。これ要望ですから。

このことについて、その他についてよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（北川勝義君） それでは、委員の皆さん、何かありましたら。

佐藤武委員。

○副委員長（佐藤 武君） AMDAのチームということで確認ですけれども、AMDAとの合同事務局、くらし安全課内の設置ということなんですけれども、この点ちょっと若干詳しく説明をお願いします。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 合同事務局ということではありますが、AMDAそれから赤磐市それぞれで事務局を構えるということでございます。AMDAの職員が赤磐市に来てと

ということではありません。それぞれの役割でもって連絡調整の役割を担うということになります。

○委員長（北川勝義君） よろしいか。

○副委員長（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 佐藤委員。

○副委員長（佐藤 武君） そしたら、それぞれの事務局を置くということなんですけど、A MDAからこちらのほうへ……。

○委員長（北川勝義君） この間言うたがん。何を聞きよんなら。

○副委員長（佐藤 武君） 了解です。

○委員長（北川勝義君） そう言うたがな。わかるように、今度は個々に説明してやってくれ。

他にないようなので、これで第8回の総務文教常任委員会を終わりたいと思います。

閉会に当たり、教育長のほうから御挨拶いただきたいと思います。

○教育長（内田恵子君） 委員長。

○委員長（北川勝義君） 教育長。

○教育長（内田恵子君） 本日は本当に御多用の中、第8回委員会が無事終了しました。事業の進捗状況につきまして熱心に御協議いただき、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。

○委員長（北川勝義君） 委員会が個々には言うと思うんですけど、8月の委員会がえろう早う決まっております、8月が20日の、時間が不規則なんですけど2時からやらせてもらうということになっております。それで、そのときに市長はおられなんだんかな、20日は。市長はおられないので、両副市長がおられるのでやらせてもらいたいということでもあります、よろしゅうお願いします。皆さん、そういうことをお願いします。

午後0時5分 閉会